

学力向上だより2

H25. 10. 3 (発行)

発行責任者：学力向上班指導主任



ご利用ください！ ～『学力向上のための手びき』～

朝夕はめっきり涼しくなり、秋の気配が次第に濃くなっています。

各学校では、学力向上に向けて様々な取り組みが展開されていることと思います。

西部教育事務所では、このたび、学力向上の一層の充実に資するため、各地域及び各市町・小中学校がこれまでの実践の中で大切にしてきたことを整理し、『学力向上のための手びき』を作成しました。

この手びきでは、第一部において、日々の授業づくりで大切にしたい指導技術の基礎・基本について『西部型授業』として、留意点をまとめました。第二部においては、全教科等の授業を支える指導技術として、「発問・指示と板書」「ICTの活用」「言語活動の充実」を取り上げ、そのポイントを示しました。また、授業とつながりの深い「家庭学習」及び、授業づくりの根幹となる指導案作成のポイントを示しました。

ぜひ、『学力向上のための手びき』を開いてみてください。悩み解決のヒントが見つかるかと思えます。また、先生方の授業実践や校内研修での参考として活用ください。

いつも、自分だけの話で授業が終わっている感じがするなあ。
もっと子どもたちが活動する授業にしたいな。



「言語活動の充実」って言われるけど、何をしたらいいのかな。

そうですね。「教師主導の授業」から「子ども主体の考える授業」を展開することが大切です。手びきの中に、授業をするにあたって忘れてはならない共通項を、必須5項目として書いています。

〈手びき4ページ参照〉



「言語活動の充実」を図ることは、各教科の授業のねらい、目標などを実現するためには欠かせないものです。その基礎となる「小集団活動」、「発表や話し合い」について指導例を手びきには載せています。

〈手びき12ページ参照〉

宿題がマンネリ化してきたな。
どんな宿題を出したらいいのかな。



研究授業をするけど、指導案の書き方が今一つわからないな。

家庭学習を充実させるために、授業で学習したことがつながるように支援していくことが大切です。また、この宿題でどのような力をつけたいのか、どのような態度を育てたいのか等、目的を明確に持って宿題を出しましょう。

〈手びき15ページ参照〉



指導案を作成することで、子ども一人ひとりの課題、指導内容、授業の流れ、具体的な支援などが明確になりますよ。また、教員間での共通理解を図ることにもつながりますね。

〈手びき18ページ参照〉

日々の授業のチェックをしてみましょう！ Check!

日々、多忙な先生方に、自分の授業を振り返るための手軽な資料として、手びきの中に下記のようなチェックシートを載せています。チェックした項目について参照ページを開くと、その内容に関わるポイントが分かるような構成にしています。 「学力向上のための手びき 3ページより抜粋」

1 つかむ (4ページを参照)

- 意欲を高める手立てをとっていますか
- めあてを板書していますか
- めあてを読ませたり、書かせたりしていますか
- めあては、終末で自己評価ができるものになっていますか

2 見通す (4ページを参照)

- 1単位時間の活動の流れを具体的に示していますか
- 先生の話す時間を短くし、子どもの活動の時間を確保していますか

3 考える (5ページを参照)

- 子どもが考える時間を確保していますか
- 自分の考えをもたせるために、ヒントカードやキーワードを示すなど手だてをとっていますか
- 考えたことを書かせていますか

4 考え合う (5, 6ページを参照)

- 他の人と考えを交流する場を確保していますか
- 交流のための具体的な視点を示していますか
- 子どもの発言をつなげたり、比べたりしていますか

5 振り返る (7ページを参照)

- 学習のまとめを行っていますか
- 子どもに自己評価をさせていますか
- 時間内に終わっていますか

チェックが入らなかった項目については、ココのページを参照し、授業改善に生かしてください！

今日の授業は、みんながんばっていたなあ。

子どもに力はいったかな？



次の時間は…
そうだ！こうしよう。

先生の振り返りも、
大切ですね。